学校番号	402

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳世界史Ｂ　（帝国書院）						
副教材等	アカデミア世界史　（浜島書店） 世界史重要語句　Check　List　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の諸事情を踏まえ、現在の日本のあり方を考える。

2　学習の到達目標

①世界の歴史への興味・関心を高め，主体的に探究していく態度を身につける。
②世界の歴史の大きな枠組みと流れを，地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解する。
③文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し，歴史的思考力を培う。
④世界史についての資料を適切に選択し，資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につける。
⑤現代社会が直面する諸課題について，歴史的観点から考察し，主体的な追究を通して認識を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○世界の歴史に対する関心を高め，文化の多様性と現代世界の特質，現在の世界の諸課題について主体的に追究している。	○世界各地の諸事象について，地理的条件や日本史とも関連付けながら考察している。 ○世界史を，時間的なつながりや空間的なつながりに着目して考察している。 ○世界各地，各時代の諸事象の特徴を，他の地域や時代の諸事象と比較して適切に考察している。 ○政治，経済，社会，文化，生活など様々な観点から世界史の諸事象を捉え，広い視野からその歴史的意義を公正に判断している。	○収集した世界史についての諸資料を，客観性や公正さにも配慮した上で適切に取捨選択して活用している。	○世界史の大きな枠組みと流れを，地理的条件や日本史とも関連付けながら，理解している。 ○世界史的な知識を，時間的なつながりや空間的なつながりに着目して整理している。 ○政治，経済，社会，文化，生活など様々な観点から世界史の諸事象を理解し，その基本的知識を身に付けている。

		○資料に基づいて追究し，考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。		
評価方法	定期考査 小テスト レポート	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト レポート	定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	人類の出現	1　人類の出現	○		○	○	a: 人類が誕生し，自然環境に適応しながら農耕・牧畜を始めたことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 人類が誕生し，自然環境に適応しながら農耕・牧畜を始めたことについて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 人類が誕生し，自然環境に適応しながら農耕・牧畜を始めたことについて様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 人類が誕生し，自然環境に適応しながら農耕・牧畜を始めたことについて理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2　文明の誕生	○	○		○		

	オリエント世界と地中海世界の形成	1　オリエント世界の形成	○			○	a：オリエント文明の展開とペルシア人の活動を中心とした西アジア世界の特質と，その影響下に生まれた地中海周辺の都市文明について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：オリエント文明の展開とペルシア人の活動を中心とした西アジア世界の特質と，その影響下に生まれた地中海周辺の都市文明について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：オリエント文明の展開とペルシア人の活動を中心とした西アジア世界の特質と，その影響下に生まれた地中海周辺の都市文明について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：オリエント文明の展開とペルシア人の活動を中心とした西アジア世界の特質と，その影響下に生まれた地中海周辺の都市文明について理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2　アッシリアからアケメネス朝の統一へ		○	○			
		3　ギリシア世界	○		○	○		
		4　ヘレニズム世界	○		○	○		
		5　ローマと地中海世界の成長	○		○	○	a：地中海周辺の都市文明を統合したローマ帝国，及びペルシア人の活動を中心とした西アジア世界について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：地中海周辺の都市文明を統合したローマ帝国，及びペルシア人の活動を中心とした西アジア世界について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：地中海周辺の都市文明を統合したローマ帝国，及びペルシア人の活動を中心とした西アジア世界について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：地中海周辺の都市文明を統合したローマ帝国，及びペルシア人の活動を中心とした西アジア世界について理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		6　ローマ帝国周辺の西アジア	○	○		○		

	南アジア世界の形成	1　インダス文明からマウリヤ朝へ		○		○	a：南アジアで独自の宗教と社会制度を基盤とした文明が形成されたことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：南アジアで独自の宗教と社会制度を基盤とした文明が形成されたことについて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：南アジアで独自の宗教と社会制度を基盤とした文明が形成されたことについて様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：南アジアで独自の宗教と社会制度を基盤とした文明が形成されたことを理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2　東西交流から古代文化の開花へ	○		○	○		
	東南アジア世界	1　海の道の形成と東南アジア	○	○	○	○	a：東南アジアの諸民族が南アジア文明や中華文明の影響を受けながら，海上交易の拡大にともなって国家を形成したことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：東南アジアの諸民族が南アジア文明や中華文明の影響を受けながら，海上交易の拡大にともなって国家を形成したことについて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：東南アジアの諸民族が南アジア文明や中華文明の影響を受けながら，海上交易の拡大にともなって国家を形成したことについて様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：東南アジアの諸民族が南アジア文明や中華文明の影響を受けながら，海上交易の拡大にともなって国家を形成したことを理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
	東アジア世界のあけぼの	1　中華文明の形成	○	○		○	a：東アジアの農耕地帯に成立した中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係しながら，日本を含む東アジア世界を形成したことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：東アジアの農耕地帯に成立した中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係しながら，日本を含む東アジア世界を形成	小テスト 定期考査

		2　秦漢帝国と東アジア			○	○	したことについて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：東アジアの農耕地帯に成立した中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係しながら，日本を含む東アジア世界を形成したことについて様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：東アジアの農耕地帯に成立した中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係しながら，日本を含む東アジア世界を形成したことを理解し，その知識を身に付けている。	
	中央ユーラシア世界の形成と展開	1中央ユーラシアの風土と遊牧帝国の出現	○			○	a：中央ユーラシアに台頭した遊牧国家を中心にした中央ユーラシア世界の形成と，中央ユーラシア世界と東アジア世界，ヨーロッパ世界との関係について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：中央ユーラシアに台頭した遊牧国家を中心にした中央ユーラシア世界の形成と，中央ユーラシア世界と東アジア世界，ヨーロッパ世界との関係について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している c：中央ユーラシアに台頭した遊牧国家を中心にした中央ユーラシア世界の形成と，中央ユーラシア世界と東アジア世界，ヨーロッパ世界との関係について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：中央ユーラシアに台頭した遊牧国家を中心にした中央ユーラシア世界の形成と，中央ユーラシア世界と東アジア世界，ヨーロッパ世界との関係を理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2　古代遊牧帝国の興亡とユーラシアの変動		○	○			

	東アジア世界の変動と再編	1 ユーラシアの変動と東アジア世界	○			○	a: 漢帝国崩壊後の中華文明が，中央ユーラシアの遊牧国家と関係しながら，新たな秩序を構築していく過程と、隋唐帝国の成立による日本列島を含む東アジア世界の再編について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 漢末から隋唐帝国にいたる中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係しながら，日本を含む東アジア世界を形成したことについて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 漢末から隋唐帝国にいたる中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係しながら，日本を含む東アジア世界を形成したことについて様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 漢末から隋唐帝国にいたる中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係しながら，日本を含む東アジア世界を形成したことを理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2 東アジア諸地域の成長と自立		○	○			
	イスラーム世界の形成	1 イスラーム世界の成立	○				a: アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，海陸の交易網の形成とユーラシア諸地域間の活発な交流について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，海陸の交易網の形成とユーラシア諸地域間の活発な交流について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，海陸の交易網の形成とユーラシア諸地域間の活発な交流について様々な資料を収集し，有	小テスト 定期考査

		2　イスラーム世界の拡大	○	○	○	○	用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，海陸の交易網の形成とユーラシア諸地域間の活発な交流について理解し，その知識を身に付けている。	
	ヨーロッパ世界の形成	1　地中海北方へ広がるキリスト教	○		○	○	a：地中海世界の政治的統一性が失われた後に，キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界がそれぞれの地域性を保ちながら東西に形成され，展開していった過程について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：地中海世界の政治的統一性が失われた後に，キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界がそれぞれの地域性を保ちながら東西に形成され，展開していった過程について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：地中海世界の政治的統一性が失われた後に，キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界がそれぞれの地域性を保ちながら東西に形成され，展開していった過程について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：地中海世界の政治的統一性が失われた後に，キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界がそれぞれの地域性を保ちながら東西に形成され，展開していった過程について理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2　西ヨーロッパ世界の成長と拡大		○	○			
		3　封建社会の解体と王権の伸張	○	○	○	○		

	ユーラシア大帝国の出現	1 ユーラシア大陸をおおうモンゴル帝国	○		○	○	a：ユーラシアの諸民族が，東アジア世界をはじめとするユーラシア諸地域の交流と再編に大きな役割を果たし，モンゴル帝国が成立・再編されていった過程について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：ユーラシアの諸民族が，東アジア世界をはじめとするユーラシア諸地域の交流と再編に大きな役割を果たし，モンゴル帝国が成立・再編されていった過程について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：ユーラシアの諸民族が，東アジア世界をはじめとするユーラシア諸地域の交流と再編に大きな役割を果たし，モンゴル帝国が成立・再編されていった過程について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：ユーラシアの諸民族が，東アジア世界をはじめとするユーラシア諸地域の交流と再編に大きな役割を果たし，モンゴル帝国が成立・再編されていった過程について理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		4 モンゴル帝国の統治体制		○		○		
	アジア諸地域の栄華と成熟	1 明の国際秩序と東・東南アジア	○	○		○	a：14 世紀から 18 世紀までの西アジア，南アジア，東アジアの動向，及びそれぞれの地域の社会や文化の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：14 世紀から 18 世紀までの西アジア，南アジア，東アジアの動向，及びそれぞれの地域の社会や文化の特質について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：14 世紀から 18 世紀までの西アジア，南アジア，東アジアの動向，及びそれぞれの地域の社会や文化の特質について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：14 世紀から 18 世紀までの西アジア，南アジア，東アジアの動向，及びそれぞれの地域の社会や文化の特質について理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2 世界帝国清とアジア諸国の成熟		○	○	○		

		3 イスラーム世界の成熟	○	○	○	○		
	大規模な分業体制の成立	1 大航海時代	○		○		a：ヨーロッパがアジア交易に参入したことにより，世界の諸地域を結ぶ交易活動が拡大し，世界の諸地域の社会が変化したことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：ヨーロッパがアジア交易に参入したことにより，世界の諸地域を結ぶ交易活動が拡大し，世界の諸地域の社会が変化したことについて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：ヨーロッパがアジア交易に参入したことにより，世界の諸地域を結ぶ交易活動が拡大し，世界の諸地域の社会が変化したことについて様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：ヨーロッパがアジア交易に参入したことにより，世界の諸地域を結ぶ交易活動が拡大し，世界の諸地域の社会が変化したことについて理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査 レポート
		2 世界の一体化の始まり		○		○		
後期	ヨーロッパ諸国の主権強化と大西洋三角関係	1 17 世紀の危機と西ヨーロッパ諸国の主権強化	○			○	a：16 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：16 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：16 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：16 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2 東ヨーロッパ諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟		○	○			

		3 イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易		○	○	○		
	環大西洋革命	1 世界最初の工業化	○			○	a：18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパとアメリカの諸革命，及び社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパとアメリカの諸革命，及び社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことについて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパとアメリカの諸革命，及び社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことについて様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパとアメリカの諸革命，及び社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことについて理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2 アメリカの独立		○	○			
		3 フランス革命と国民国家の誕生	○			○		
		4 ラテンアメリカの環大西洋革命		○		○		
		5 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設			○	○		
	世界の一体化の完成とその影響	1 帝国主義と世界分割競争	○			○	a：19 世紀後半から 20 世紀初めまでの欧米諸国の工業化の進展にともなう国家・社会の変化及び帝国主義時代の世界の動向と社会の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：19 世紀後半から 20 世紀初めまでの欧米諸国の工業化の進展にともなう国家・社会の変化及び帝国主義時代の世界の動向と社会	小テスト 定期考査
		2 イギリスの覇権の衰退とアメリカ･ドイツの覇権争い	○		○	○		

		3　アジア知識人による体制改革の試み	○	○		○	の特質について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：19 世紀後半から 20 世紀初めまでの欧米諸国の工業化の進展にともなう国家・社会の変化及び帝国主義時代の世界の動向と社会の特質について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：19 世紀後半から 20 世紀初めまでの欧米諸国の工業化の進展にともなう国家・社会の変化及び帝国主義時代の世界の動向と社会の特質について理解し，その知識を身に付けている。	
	世界の一体化の進展とアジアの変容	1　イスラーム諸国の変容と模索	○	○			a：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応，及び 19 世紀のアジアの特質とその中での日本の位置づけについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応，及び 19 世紀のアジアの特質とその中での日本の位置づけについて多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応，及び 19 世紀のアジアの特質とその中での日本の位置づけについて様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応，及び 19 世紀のアジアの特質とその中での日本の位置づけについて理解し，その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査
		2　南アジア･東南アジアの植民地化と社会変容	○	○				
		3　東アジア諸国の模索と変容			○	○		
	世界戦	1　第一次世界大戦と社会主義革命	○	○		○	a：第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる世界戦争の時代の国際社会の変遷と大衆社会の出現，及び 20 世紀前半の世界の動	小テスト 定期考査

		2　第一次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開		○	○		向と社会の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：・第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる世界戦争の時代の国際社会の変遷と大衆社会の出現，及び 20 世紀前半の世界の動向と社会の特質について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる世界戦争の時代の国際社会の変遷と大衆社会の出現，及び 20 世紀前半の世界の動向と社会の特質について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる世界戦争の時代の国際社会の変遷と大衆社会の出現，及び 20 世紀前半の世界の動向と社会の特質について理解し，その知識を身に付けている。	
		3　大衆社会の到来とファシズムの出現	○		○			
		4　第二次世界大戦とその惨禍			○	○		
	東西冷戦から多極的国際社会へ	1　アメリカの派遣と冷戦の展開	○				a：第二次世界大戦終結後の冷戦体制の始まりから，アジア・アフリカ諸国の独立，平和共存の模索，アジアやヨーロッパの経済成長による世界の多極化を経て 1970 年代にいたるまでの世界の動向について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：第二次世界大戦終結後の冷戦体制の始まりから，アジア・アフリカ諸国の独立，平和共存の模索，アジアやヨーロッパの経済成長による世界の多極化を経て 1970 年代にいたるまでの世界の動向について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。	小テスト 定期考査 レポート
		2　多極化の始まり		○		○		

		3　米ソ二極時代の終焉			○	○	c：第二次世界大戦終結後の冷戦体制の始まりから，アジア・アフリカ諸国の独立，平和共存の模索，アジアやヨーロッパの経済成長による世界の多極化を経て 1970 年代にいたるまでの世界の動向について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：第二次世界大戦終結後の冷戦体制の始まりから，アジア・アフリカ諸国の独立，平和共存の模索，アジアやヨーロッパの経済成長による世界の多極化を経て 1970 年代にいたるまでの世界の動向について理解し，その知識を身に付けている。	
	相互依存を深める世界	1　社会主義圏の解体と国際秩序の変容	○	○		○	a：1980 年代以降の市場経済のグローバル化や地球的諸課題，及び世界と日本の動向，社会の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：1980 年代以降の市場経済のグローバル化や地球的諸課題，及び世界と日本の動向，社会の特質について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：1980 年代以降の市場経済のグローバル化や地球的諸課題，及び世界と日本の動向，社会の特質について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。	小テスト 定期考査

		2　グローバル化の動きと世界の変化	○	○	○	○ ○	d: 1980 年代以降の市場経済のグローバル化や地球的諸課題，及び世界と日本の動向，社会の特質について理解し，その知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。